

ふくしま

建築文化編

インフラ ツーリズム

ダムや橋などの公共土木施設（インフラ）を巡るインフラツーリズムに、優れた建築物を組み入れた「ふくしまインフラツーリズム【建築文化編】」として、ふくしまの魅力を再発見できるモデルコースを紹介します。

会津地方 コース



はじまりの美術館

猪苗代第二発電所



大川ダム



安積疏水
十六橋水門

須賀川市民
交流センター tette



みなみあいづ森と木の情報・
活動ステーション きとね



玉川村複合型水辺施設
乙な駅たまかわ



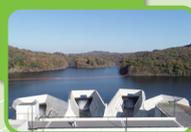
矢澤酒造店

中通り コース



たまかわ観光交流施設
森の駅 yodge

千五沢ダム



浜通り コース



浦尻貝塚
縄文の丘公園
貝塚観察館



木戸ダム



いわき市立
草野心平
記念文学館

いわきワイナリー
ガーデンテラス
& ショップ



いわき七浜海道
サイクリング
コース



3つのモデルコースで

会津地方
コース

中通り
コース

浜通り
コース

知ってそうで知らなかった
福島を再発見してみよう！

ふくしま インフラツーリズム

建築文化編

会津地方 コース

① はじまりの美術館



東日本大震災により被害を受けた築約140年の十八間蔵を、伝統的な接木技術を生かしながら古材を最大限に活用して、蔵が備えていた建築の価値を損なうことなく、より質の高い空間を創出しています。

福島県耶麻郡猪苗代町新町4-873

磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で約12分 JR磐越西線猪苗代駅から徒歩で約25分

② 安積疎水十六橋水門



日橋川の上流に建設された水門で、天明6（1786）年に会津藩によって架けられた歴史ある水門であり、湖の水位を調整し安積疎水等へ水を流している。弘法大師が16の塚を築いて橋を渡したという逸話が名前の由来です。

福島県猪苗代町翁沢2299-2

磐越自動車道磐梯道猪苗代磐梯高原ICから約15分 JR猪苗代駅から車で約20分

④ 大川ダム



洪水調節、流水の正常な機能の維持、各種用水の確保、揚水式およびダム式発電を行っている多目的ダムであり、重力式コンクリートとロックフィルの複合型のダム形式が採用されているダムです。ダム湖の両岸には西公園と東公園があり、広場や遊歩道が整備されています。新緑と紅葉の時期は散策におすすめです。

福島県会津若松市大戸町大字大川李平乙121

磐越自動車道会津若松ICから車で約40分

会津鉄道大川ダム公園駅から徒歩で約15分

③ 猪苗代第二発電所



大正時代に建設された歴史ある水力発電所であり、東京駅を設計した辰野金吾博士が設計監修し、自然とマッチしながらも、どこか大正ロマンを感じさせる赤煉瓦の外壁が特徴となっています。※内部見学は、教育を目的とした方のみのお受けとなっています。

福島県会津若松市河東町八田大林82-1

磐越自動車道磐梯河東ICから約5分 JR磐越西線磐梯町駅から車で約5分

⑤ みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション きとね



森林・林業・木材産業振興の拠点施設であり、3～4mの製材を用いて製作される「縦ログ」、「重ね梁」を採用した構造になっています。「南会津町=木の町」を広く周知する情報発信機能や林業等の担い手を育成する研修機能、木材製品を展示・販売する機能などさまざまな機能があり、子供が楽しみながら木に触れて楽しめる木育スペースは無料で利用ができます。

福島県南会津郡南会津町田島宇宮本東33番地1

会津鉄道会津田島駅から徒歩約10分



ふくしま インフラ ツーリズム

建築文化編

① たまかわ観光交流施設 森の駅 yodge



2006年閉校の須釜小学校旧四辻分校をリノベーションした宿泊施設。内部は既存の小屋組をいかした良質な空間となっており、デザインも南側正面には旧校舎の面影を残しており、新しさと懐かしさとがバランス良く融合されています。テントサウナなどの体験付き宿泊プランも好評です。

福島県石川郡玉川村大字四辻新田字村中131

あぶくま高原道路石川母畑ICから約15分

② 千五沢ダム



昭和50(1975)年に建設されたかんがい専用ダムで、新たに洪水調節を行うために改築工事を経て、令和6(2024)年に完成しました。ラピンス型とよばれる洪水吐き(洪水を安全に下流に流す施設)の形に注目!

福島県石川郡 石川町大字母畑地内

あぶくま高原道路石川母畑ICから約5分 JR水郡線磐城石川駅から車で約15分

④ 玉川村複合型水辺施設 乙な駅 たまかわ



名所「乙字ヶ滝」隣にオープンした木材をふんだんに使用した隈研吾氏の設計による複合型水辺施設です。開放的な空間で料理と自然を満喫できるデッキや、村の新たな特産品であるクラフトビールの工房等を備え、カヌーやサイクリングなども体験できる、多くの方々の憩いの場となっています。

福島県石川郡玉川村大字竜崎字滝山

東北自動車道須賀川ICから約15分/あぶくま高原自動車道玉川ICから10分

福島交通乙字ヶ滝バス停から徒歩1分

中通りコース



③ 須賀川市民交流センター tette



tette(テッテ)は「hand to hand~手と手」、幼児語の手を意味する「てって」から市民公募で名付けられました。図書館や子育て施設などを複合した新しいタイプの活動・交流施設です。テーマ毎に設けたフロアを吹抜けにより有機的に積層しており、建物の内外にダイナミックな空間と形態を創出しています。

福島県須賀川市中町4-1

東北自動車道須賀川ICから車で約5分 JR東北本線須賀川駅から徒歩約20分

⑤ 矢澤酒造店



矢澤酒造店は、奥州最南端矢祭の恵まれた気候風土の中で造られる日本酒の製造・販売施設です。建物の構造は木造軸組みの平屋建てで、酒蔵や店舗を包むような屋根とするため、短辺方向の柱を8.0m間隔で配置する大架構形式としました。建物背景には竹林があり、店舗から見える水盤や植栽とともに心地よい自然を感じられる施設となっています。

福島県東白川郡矢祭町戸塚41

常磐自動車道那珂ICから約60分

JR水郡線南石井駅から徒歩15分

ふくしま インフラ ツーリズム

建築文化編

浜通りコース



1 浦尻貝塚 縄文の丘公園 貝塚観察館

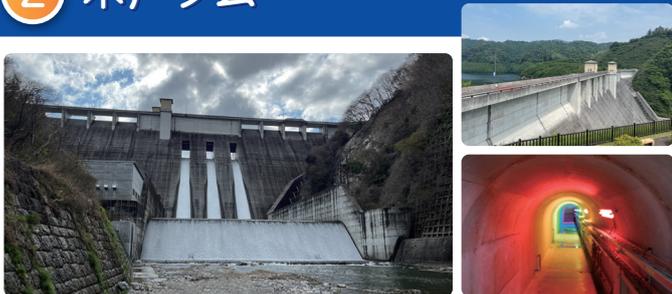


浦尻貝塚縄文の丘公園内に位置し、全国初の立体的な貝塚剥ぎ取り標本を観察できる施設です。震災を経て、「地域づくり」としての「史跡整備」を試み実現した建築として、日常の管理を地域住民が行っています。貝塚の直上にそっと置かれた最小の博物館は、説明しすぎない表現による現地体験によって想像を膨らませ、縄文時代の展示であると同時に震災以降の現代を思い、地域についての対話を喚起する文化拠点を目指しています。

福島県南相馬市小高区浦尻字台ノ前地内

常磐自動車道浪江ICから車で約15分(10km) JR常磐線小高駅から車で約10分

2 木戸ダム



かつて起きた洪水被害や深刻な水不足を防ぐため、平成20(2008)年に完成したダム。申し込みをすればダム内部に潜入し、86m下の点検用通路巡りやダムのさまざまな設備を見学することができます。

福島県双葉郡楳葉町大字上小埜

常磐自動車道広野ICから車で約25分(10km)
常磐自動車道ならはスマートICから車で約15分(10km)
JR常磐線木戸駅から約8km/JR常磐線竜田駅から車で20分

3 復興サイクリングロード いわき七浜海道



復旧・復興事業を契機として整備された総延長約53kmのサイクリングロード。市内各地にサイクルステーションが開設されており、白砂青松が広がる美しい海岸線に沿いながらサイクリングが楽しめます。

4 いわきワイナリー ガーデンテラス



建築・家具・造作が一体となり、細部までデザイン的な配慮がなされた木造のワイナリー建築です。緩斜面のぶどう畑を見下ろす丘に、遠望できる山の眺望まで取り込んで建てられており、気持ちの良い空間が演出されています。ワインの購入、有料試飲、栽培体験、セラール見学も可能です。

福島県いわき市好間町中好間字半貫沢34-72

常磐自動車道いわき中央ICから車で約5分
JR常磐線いわき駅から約15分/JR常磐線内郷駅から車で約7分

5 いわき市立 草野心平記念文学館



いわき市小川町の雄大な自然に囲まれた山腹に立地しており、アトリウムロビー正面から一望できる阿武隈山系は、心平が16歳まで暮らした故郷の情景です。館内には常設展示室をはじめ、アートパフォーマンススペース等で文学を中心とした様々な催しを行っており、7、8月にはサマーナイトコンサート等も開催しています。

福島県いわき市小川町高萩字下夕道1-39

常磐自動車道いわき中央ICから車で約15分
JR常磐線いわき駅から車で約20分/JR磐越東線小川郷駅から車で約5分